

1. 学校名：根羽村立義務教育学校根羽学園

2. 対象：5・6年生 生徒12名

3. 活動内容

(1) 活動テーマ 「根羽の知られざる魅力を発信しよう」

(2) 活動の目標

根羽村にある場所やそこに紐づく人々について知り、根羽村ならではの良さを感じたり、働く人の思いに触れたりすることで、根羽村への愛着や物事に対する新しい物の見方を習得することができる。

(3) ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 多様性（多種多様な現象が起きていること） | <input type="checkbox"/> 公平性（一人ひとりを大切に） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 相互性（関わりあっている） | <input checked="" type="checkbox"/> 連携性（互いに連携・協力すること） |
| <input type="checkbox"/> 有限性（限りがある） | <input type="checkbox"/> 責任制（責任を持って） |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | |

②育成する資質・能力

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input checked="" type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4) 関連する SDGs



11 住み続けられるまちづくりを

(5) 活動の内容

- ① これからの番組制作の流れを理解し、見通しをもつ。映像というものの歴史を知り、番組作りへの期待を高める。
- ② 根羽村の場所や人を知り、伝えたいポイントを絞る。台本を作成し、撮影ができる状態をつくる。
- ③ 台本をもとに撮影を行い、自分たちが伝えたいことが伝わるような構成になっているのかを確認する。編集を通して、番組をより魅力的なものにする。
- ④ 上映会に向けて準備に取り組む。振り返りを通して、できたこと・よかったことをもとに、自他共に認め合い、今後の課題を見つける。

4. 活動の成果

- ・根羽村にある場所やそこに紐づく人々について知り、根羽村ならではの良さを感じたり、働く人の思いに触れたりすることで、根羽村への愛着や物事に対する新しいものの見方を習得することができた。
- ・テレビ番組制作を通して、効果的なインタビューの仕方や、情報を整理しまとめること、また相手に伝わりやすい発信方法などについて学ぶことができた。

5. 指導方法・体制の工夫

- ①森林組合・小野さん ②村内でお店を運営されている方々

1 学校名：根羽村立義務教育学校根羽学園 対 象：7～9年生 8名

2 活動内容

(1) 活動のテーマ 「林業体験学習」

(2) 活動の目標

- ①全村民が森林組合員である根羽村の一員として、森林について学び、森林を大切にすることを育てる。
- ②人々がどのように森林を育て、利用し、守っているか、林業そのものについて学び、林業という職業に対するの興味関心が高まるようにする。

(3) ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- 多様性 (多種多様な現象が起きていること)
- 公平性 (一人ひとりを大切に)
- 相互性 (関わりあっている)
- 連携性 (互いに連携・協力すること)
- 有限性 (限りがある)
- 責任制 (責任を持って)
- その他 ()

②育成する資質・能力

- 批判的に考える力
- 他者と協力する力
- 未来像を予測して計画を立てる力
- つながりを尊重する態度
- 多面的・総合的に考える力
- 進んで参加する態度
- コミュニケーションを行う力

(4) 関連する SDGs



11 住み続けられるまちづくりを
15 陸の豊かさも守ろう

(5) 活動の内容

時間	学習内容
前々時	「きこりものがたり」というゲームを行い、木を植えてから販売する一連の流れを学ぶ。植林の仕方や木の販売等について学ぶ。
事前	「WOOD JOB」という映画を見て、林業について学ぶ。 世界で起きている森林に関わる課題について学ぶワークショップを行う。
当日	植林体験学習 30分前には帰校して、振り返りの時間をとる。

3 活動の成果

- (1) ゲームやワークショップを通して生徒が林業の現状を知ったり、林業の尊さについて学んだりできた。
- (2) 植林体験学習により、木を育てることや森林を守り受けついでいくことの意味について体験を通して学ぶことができた。また、一層森林を身近に感じることができた。

4 指導方法・体制の工夫

- (1) 森林組合との連携
- (2) 校内の ESD 担当者との打ち合わせ、指導案作り

1. 学校名：根羽村立義務教育学校根羽学園

2. 対象：8年生 生徒1名

3. 活動内容

(1) 活動名 「端材のベンチで根羽をPRしよう」

(2) 活動の目標

端材を活用したものづくりや根羽を宣伝する活動を通して、自分で計画・実行し、評価・改善しながらものごとに取り組む力を高め、根羽村に貢献できたと実感することができる。

(3) ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 多様性（多種多様な現象が起きていること） | <input type="checkbox"/> 公平性（一人ひとりを大切に） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 相互性（関わりあっている） | <input checked="" type="checkbox"/> 連携性（互いに連携・協力すること） |
| <input type="checkbox"/> 有限性（限りがある） | <input type="checkbox"/> 責任制（責任を持って） |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | |

②育成する資質・能力

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input checked="" type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4) 関連する SDGs



11 住み続けられるまちづくりを
15 陸の豊かさを守ろう



(5) 活動の内容

- ①森林組合を見学し、根羽村の林業を知る。
- ②森林組合からいただいた杉やヒノキの端材を使ってベンチを製作する。
- ③ベンチを置いてもらう場所を考える。

4. 活動の成果

- ・端材を活用する方法を考えることができた。
- ・強度や安定性を考え、緻密に設計してベンチを製作することができた。
- ・ベンチをどこに置けば根羽の PR につながるか考えることができた。



5. 指導方法・体制の工夫

- ①村内の地域素材（杉・ヒノキ）
- ②森林組合の方
- ③技術科の先生

